

取扱説明書 Ver 1.00

TP-720

フービ



⚠ 危険 明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示します。

- このシェルターの素材は難燃性ではありません。シェルター内では燃焼式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源や、マッチ、ローソク、ライター、タバコなどの裸火や炎は絶対に使用しないでください。限られた空間での火気の使用は火災や酸欠、一酸化中毒などのおそれがあり大変危険です。
- シェルター内で燃料を保管したり、燃料を補給するなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。

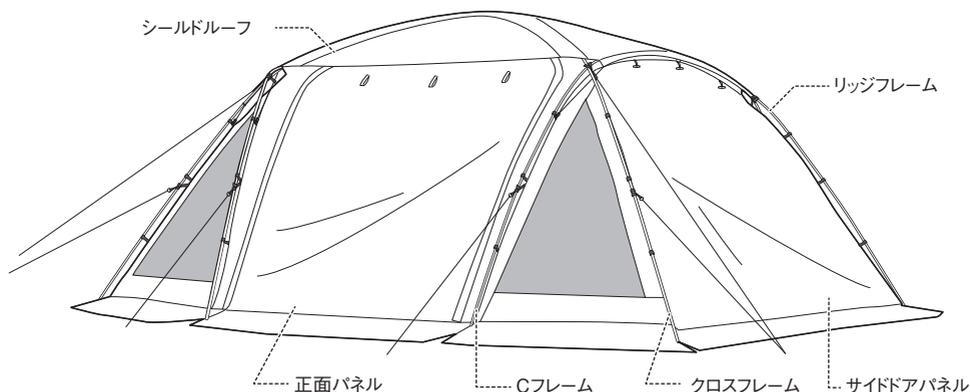
⚠ 警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

- ご使用前に、本製品を点検し各部に異常がないことを確認してください。異常が発見された場合は、直ちに使用を中止しお買い求めいただいた販売店様、または弊社ユーザーサービス係に点検または修理を依頼してください。
- 気象状況には常に細心の注意を払い、風の強い時や悪天候が予想されるときは速やかに撤収して安全な場所へ避難してください。
- 高温に加熱されたものや発熱性のあるものを持ち込まないでください。火災や熱中症などの危険があります。
- 天候によりシェルター内は高温になり、熱中症などの危険があります。お子様の昼寝の際など、細心の注意を払ってください。
- 風の吹き抜けるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な洪水や氾濫などのおそれのない地盤のしっかりとした、水はけの良い平坦な場所を選んで設営してください。

⚠ 注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大損害の原因となる行為を示します。

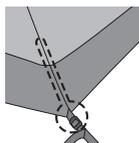
- 本製品は常設用ではありません。シェルターの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起きますので、常設用として使用しないでください。
- 日差しによりシェルターの表面は低温やけどに発展するほどの高温になります。十分にご注意ください。
- 焚火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。設営・撤収の際には、周囲に火気がないことを確認してください。火の粉を被り、生地に穴を開けてしまう場合があります。
- シェルターの設営・撤収の際は、風に飛ばされないよう本体をしっかりと支えて作業してください。事故に繋がるおそれがありますのでポールを取り扱う際は必ず周囲の安全を確認して作業してください。作業は必ず2人以上でおこなってください。
- ベグとロープでしっかりとシェルターを固定してください。
- 薄い生地を使用していますので、生地を引っ張りすぎると破損するおそれがあります。ご注意ください。
- 足もとのビルディングテープ、ロープやベグ等にはご注意ください。足を引っ掛けて転倒し、思わぬ事故の原因となります。
- ロープを正しく張ることにより風や雨に耐える強度を得ることができます。ご使用の際は取扱説明書(本書)に従い必ずすべてのロープを張ってください。
- シェルター本体やインナールーム内には小物を吊るすループが付いています。各ループで1kgを超えない範囲でご使用ください。

各部の名称

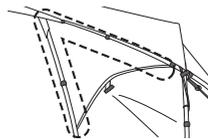


使用前の準備

縫製部分にはシームテープによる防水処理が施してありますが、本体のベンチレーション部やファスナー部、インナールームのボトムシートの一部は製造の都合上、または構造上、シームテープが施せない部分があります。通常の雨には十分対応できますが、長時間の大雨や横なぐりの雨、地面に雨水が溜まっているような状態では、縫い目から雨水が侵入することがありますので必要に応じて縫い目にシームシーリング剤(目止め液)を塗布してください。シームシーリング剤は縫い目に沿って表裏の両面からうすく塗布し、よく乾燥させてください。シームシーリング剤は時間とともに硬化します。剥離したときは塗布しなおしてください。下記の指定箇所以外の場所から雨水が侵入した場合も必要に応じて目止めを行ってください。



インナールームボトムのコーナー部
すべてにシームシーリング剤を塗布
してください。(4カ所)



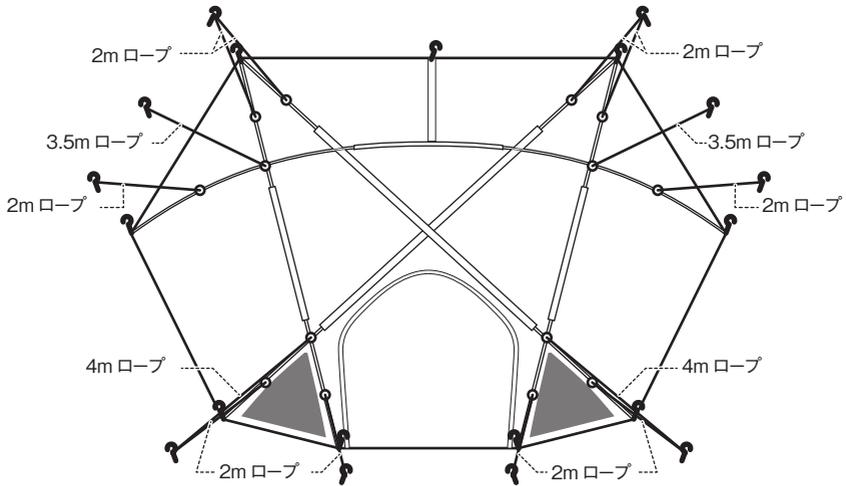
ベンチレーション部の表と裏側にシームシー
リング剤を塗布してください。(2カ所)

初めてお使いになる前に

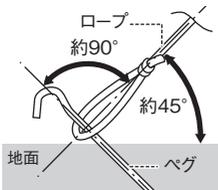
- 品質には万全を期しておりますが、お使いになる前に必ず試し張りを行い、付属品や設営道具を確認してください。万一不具合や付属品の欠品があった場合は、お買い求めになった販売店様または弊社ユーザーサービスマスまでお問い合わせください。

自在付ロープの取付け、ペグダウンの位置

ロープの固定、ペグダウンは下図のように行ってください。

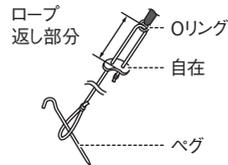


ロープへのペグダウン



設営したとき、ロープの角度が地面に対して約45°となるのが理想的なペグダウンの位置です。また、ペグを打ち込む角度はロープに対して90°になるようにペグダウンしてください。

シングルロープの取り付け

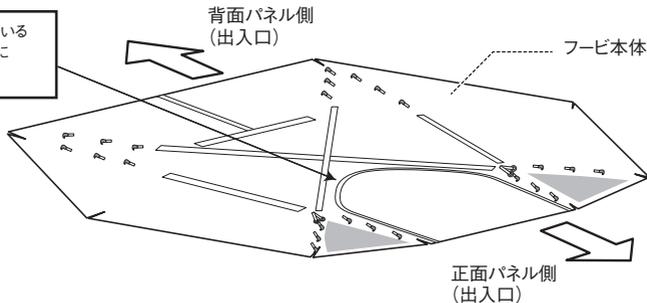


ロープの自在が付いている返し部分がOリング側に来るように取り付けてください。

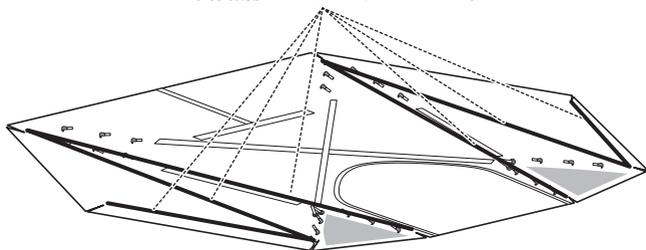
設営の手順 より安全に設営するためにも必ず2人以上で設営してください。

- ① 本体を設営する平坦な場所に広げてください。その時正面パネル、背面パネルの向きを考慮して広げてください。
※ビルディングテープ6本すべてのナスカンが接続されている事を確かめてください。もし外れている場合は設営前に必ず接続をしてください。

U字ジッパーがついている
パネルが正面パネルに
なります。

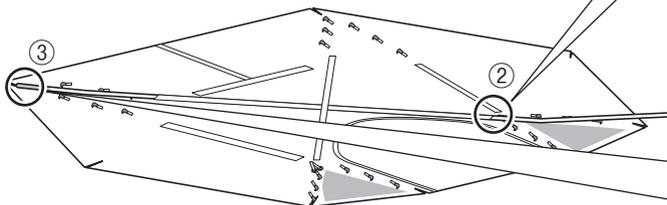
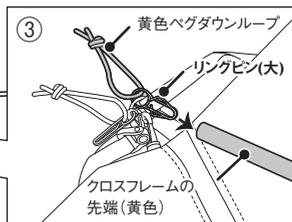
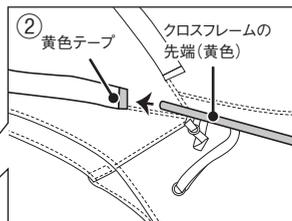


本体裾部につくビルディングテープ6本

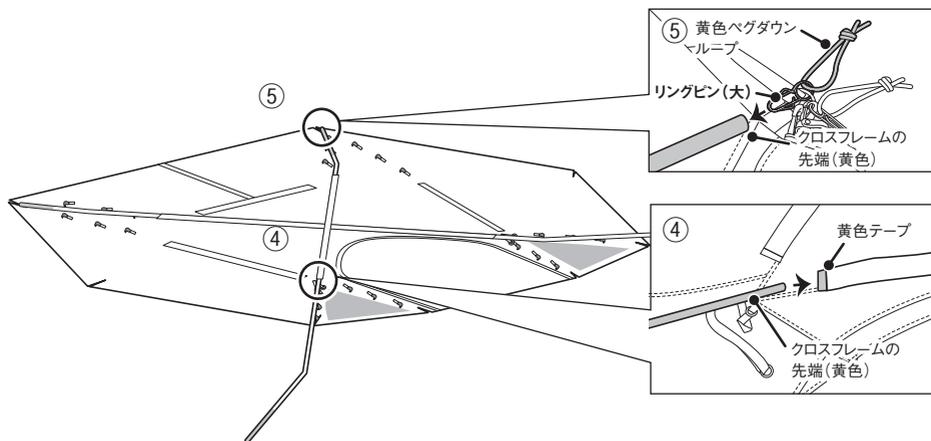


- ② クロスフレーム (端部が黄色のフレーム)を黄色テープがついているスリーブに入れてください。
クロスフレームの先端(黄色)と、スリーブのテープの色(黄色)が合っているか確認し、クロスフレームの節を繋げながらスリーブに通してください。
※スリーブにフレームを入れる際は、フレームを「押し入れて」ください。フレームを引っ張るとフレームの接続部がスリーブの中で抜け、生地を噛んでしまいますのでお止めください。

- ③ 黄色ベグダウンループが付いたリングピン大(背面パネル側)をクロスフレームの先端(黄色)に差し込んでください。
※このときフレームを引っ張らずに、リングピンをフレーム先端に差し込んでください。フレームを引張るとフレームの節が外れ、製品破損に繋がります。ご注意ください。
※このコーナーにはサイズの異なるリングピンが2個付いています。大きい方のリングピンに差し込んでください。



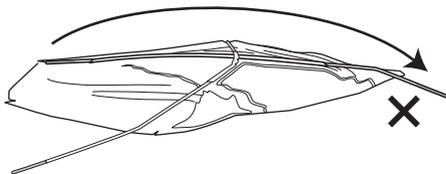
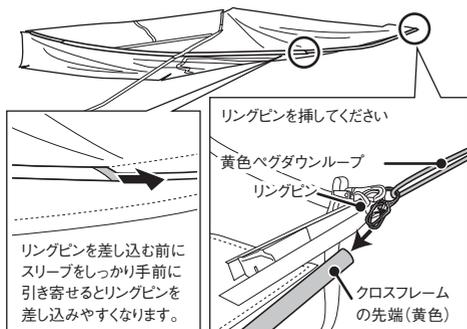
- ④ ②同様に、もう一本のクロスフレームを黄色テープがついているスリーブに入れてください。
※スリーブにフレームを入れる際は、フレームを「押し入れて」ください。フレームを引っ張るとフレームの接続部がスリーブの中で抜け、生地を噛んでしまいますのでお止めください。
- ⑤ ③同様に黄色ベグダウンループが付いたリングピン大(背面パネル側)をクロスフレームの先端(黄色)に差し込んでください。
※このときフレームを引っ張らずに、リングピンをフレーム先端に差し込んでください。フレームを引っ張るとフレームの節が外れ、製品破損に繋がります。ご注意ください。
※このコーナーにはサイズの異なるリングピンが2個付いています。大きい方のリングピンに差し込んでください。



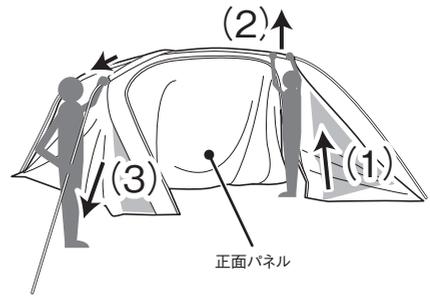
- ⑥ 本体を寝かせた状態で、交差しているクロスフレームの下側のフレームの先端(黄色)に、黄色ベグダウンループが付いたリングピンを差し込んでください。
※リングピンをフレーム端部に入れる時は、フレーム端部をしっかりを持ち、指をはさまないように気をつけながら差し込んでください。

○ フレームが正面パネル側に湾曲するようにしならせてください。

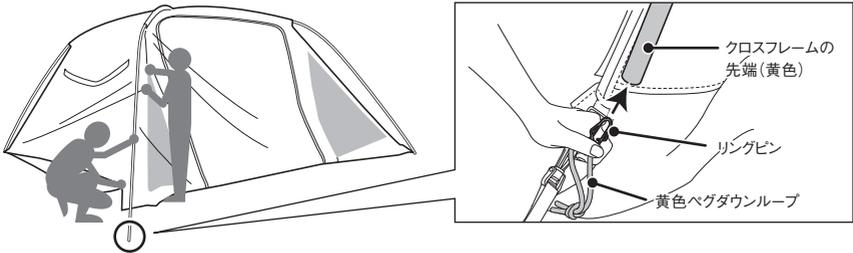
✕ 背面パネル側にフレームをしならせた場合はフレームにリングピンを差し込めなく、フレームが変形するおそれがあります。



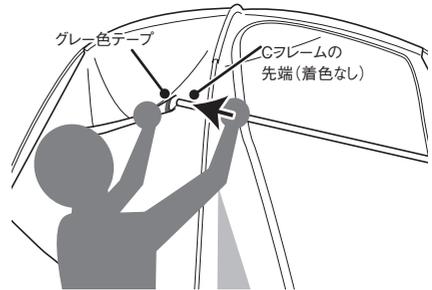
- ⑦ 正面パネルのジッパーを開け(1)、一人がクロスフレームを下から持ち上げてください。(2) その間にもう一人がスリーブを手前に引き寄せてください。(3)



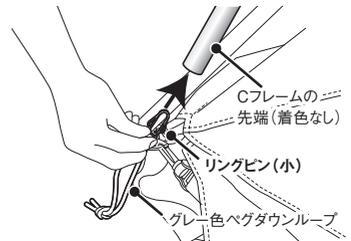
- ⑧ クロスフレームの先端(黄色)に、黄色ベグダウンループが付いたリングピンを差し込んでください。差し込む前にスリーブをしっかりと手前に引き寄せるとリングピンに差し込みやすくなります。



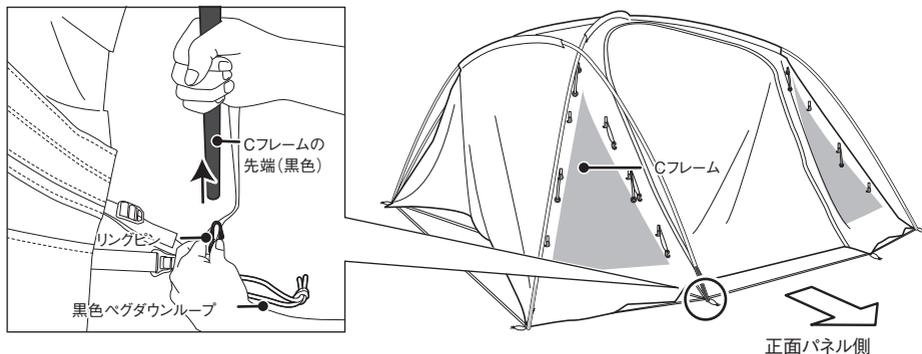
- ⑨ Cフレーム(端部が黒色と着色なしのフレーム)の先端(着色なし)と、スリーブのグレー色テープ(正面パネル側)を合わせるように、フレームを少しずつ継ぎ、スリーブに通してください。背面のリングピンを差し込みやすい位置にフレームの先端(着色なし)がくるまで押し入れてください。



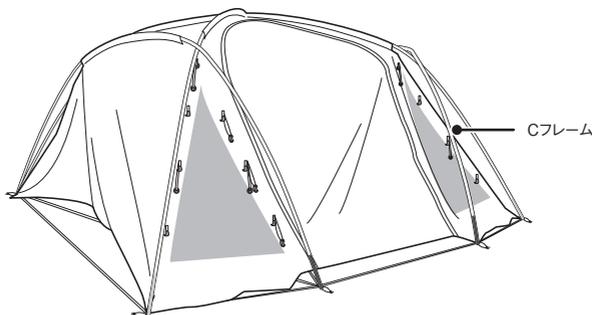
- ⑩ 背面パネル側に移動し、グレー色ベグダウンループが付いたリングピン(小)をCフレームの先端(着色なし)に差し込んでください。このとき節が確実に繋がるようにピンをフレームに挿してください。フレームを引っ張るとフレームの節が外れ、製品破損に繋がります。ご注意ください。
※このコーナーにはサイズの異なるリングピンが2個付いています。小さい方に差し込んでください。



- ⑪ 正面パネル側に移動し、黒色ベグダウンループが付いたリングピンをCフレームの先端(黒色)に差し込んでください。



- ⑫ ⑨～⑪同様に、もう片方のCフレームもスリーブに通し、フレームの端部をリングピンにそれぞれ差し込んで立ち上げてください。

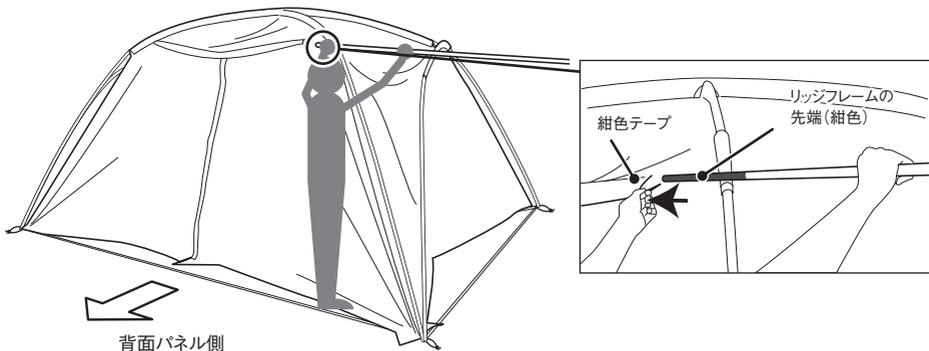


- ⑬ 背面パネル側に移動し、リッジフレームの先端(紺色)とスリーブのテープの色(紺色)が合っていることを確認し、リッジフレームをスリーブに差し込んでください。

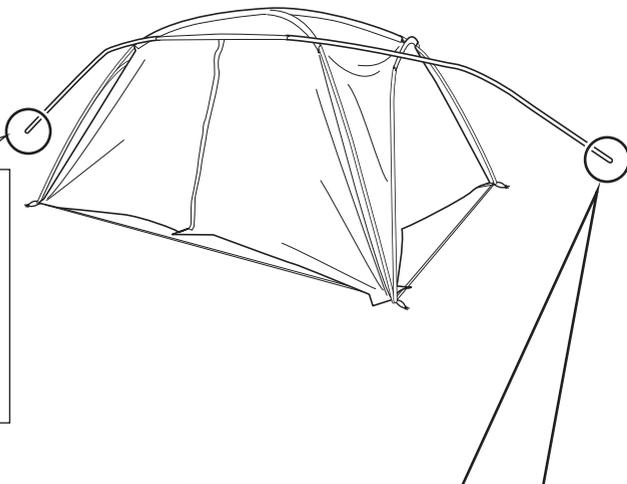
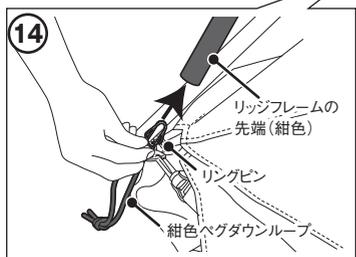
※リッジフレームは左右対称です。

リッジフレームの節を少しずつ継ぎながらスリーブに通してください。

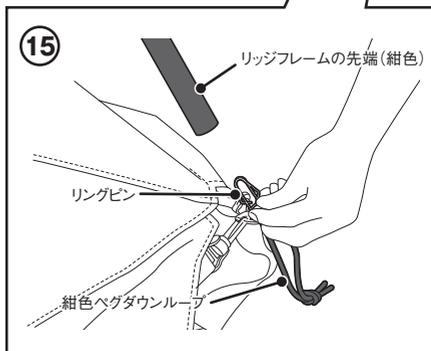
※スリーブにフレームを入れる際は、フレームを「押し入れて」ください。フレームを引っ張るとフレームの接続部がスリーブの中で抜け、生地を噛んでしまいますのでお止めください。



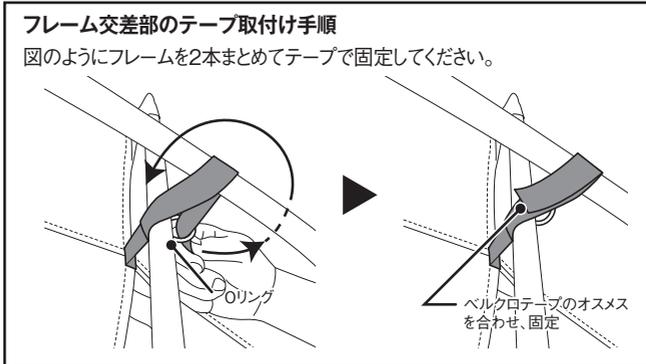
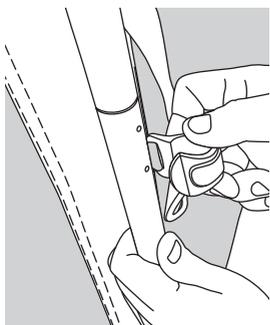
- ⑭ 紺色ベグダウンループが付いたリングピンをもち、リッジフレームの先端(紺色)に差し込んでください。
 ※このときフレームを引っ張らずに、リングピンをフレーム先端に差し込んでください。フレームを引っ張るとフレームの節が外れ、製品破損に繋がります。ご注意ください。



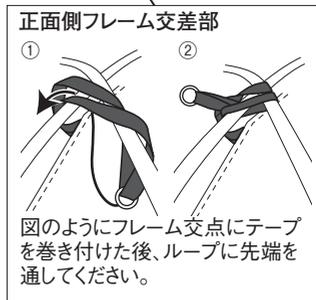
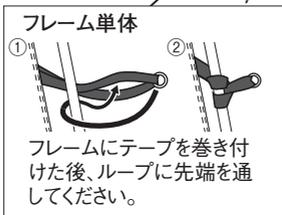
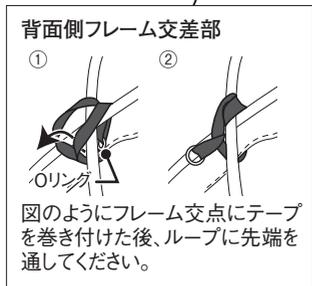
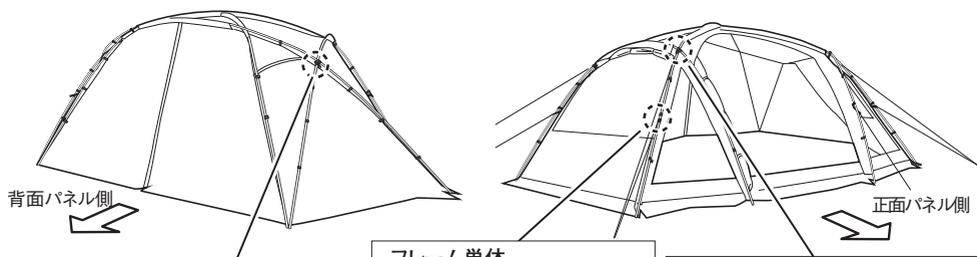
- ⑮ 節が隙間なく確実に繋がっていることを確認した後、反対側も同様に紺色ベグダウンループが付いたリングピンをリッジフレームの先端(紺色)に差し込んでください。



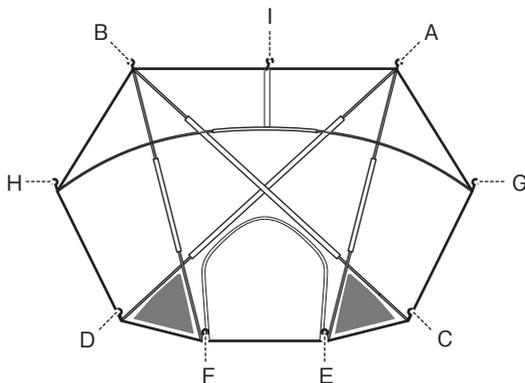
- ⑯ クロスフレーム/Cフレーム/リッジフレームにプラスチックフックを掛けてください。また、フレームの交差部はベルクロ付きテープをOリングに通して固定してください。



- ①7 各フレーム交差部やフレーム単体につけるOリング付きテープは図のようにフレームに巻き付けてください。P4の【自在付きロープの取付け、ペグダウンの位置】の図に記載のロープの長さを参考に、このOリングにロープを取り付けてください。(全14カ所)



- ①8 裾部リングピンに付いているペグダウンループにジュラルミンペグを通し、ペグダウンをしてください。各コーナーにあるペグダウンループは下図のアルファベット順にペグダウンしてください。

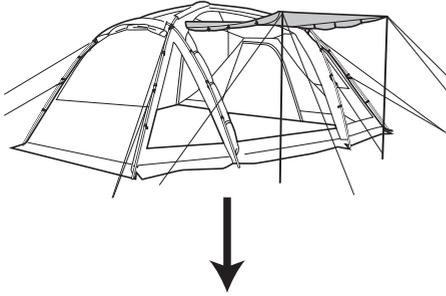


- ①9 P4の【自在付きロープの取付け、ペグダウンの位置】の図をもとに、付属の張り綱ロープも、しっかりペグダウンしてください。正面パネルを跳ね上げる場合は別売のアップライトポール(TP-080)またはウイングポール210cmを使い付属の二又のロープで立ち上げてください。シワが残らない様にロープの方向を調整してください。

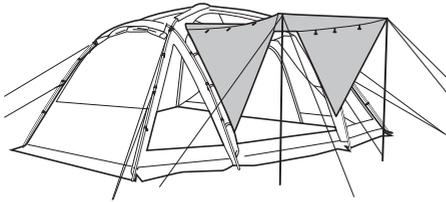
※210cmのウイングポールを使用する際は、必要に応じてポールを倒して高さを調整してください。

【正面パネルを跳ね上げる場合】

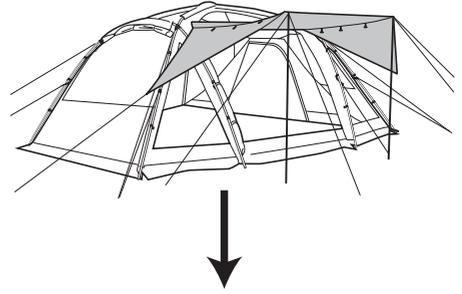
変形パターン1:サイドウォールを巻き上げる。



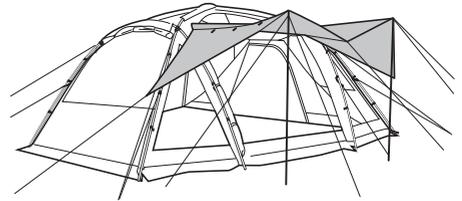
変形パターン3:サイドウォールのジッパーを閉め雨の侵入を最小限にする。



変形パターン2:サイドウォールを広げて遮光面積大きくする。

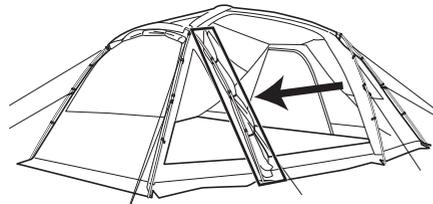


※降雨時のドアパネルは水が溜まりやすくなりますのでポールを斜めに倒し勾配をつけるか、正面パネル中央にロープつけ引張り、ペグダウンすることで大きくV字をつくり水の逃げ道をつくり溜まらないようにします。



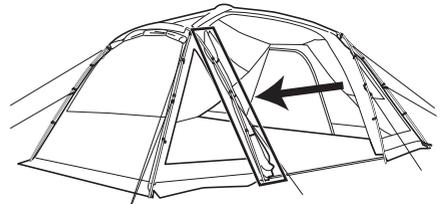
【正面パネルを巻き上げる場合】

正面と上面を一度に開放したい場合は正面パネルは向かって左側にトグルでまどめてください。
※正面だけ巻く場合は上部で巻くことができます。



【正面メッシュを巻き上げる場合】

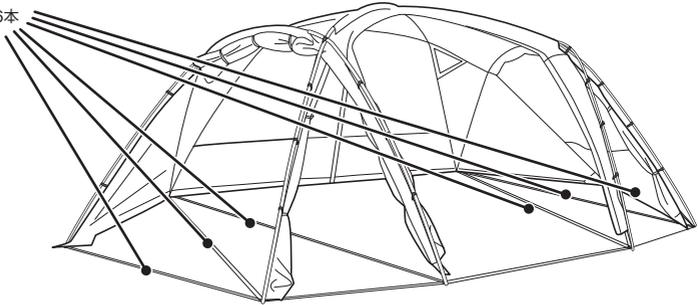
正面メッシュパネルは向かって左側にトグルでまどめてください。トグルが景色を邪魔しないよう、メッシュ上部にトグルは付いていません。



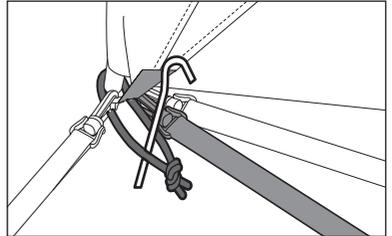
ビルディングテープをはずす場合

お子様などがビルディングテープに足を引掛けることを防ぐため、ビルディングテープをはずすことがあります。ビルディングテープをはずすとシェルターの強度はさがるため、基本的にはビルディングテープははずさないでください。

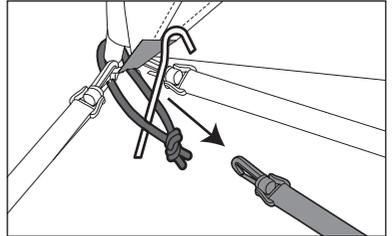
本体裾部につく
ビルディングテープ6本



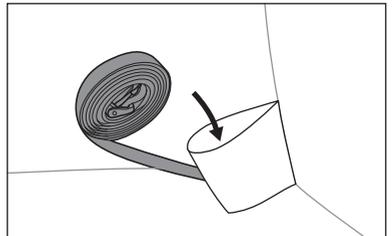
- ① ビルディングテープを外した際、シェルターが外側へ広がるのを防ぐためベグダウンループを固定しているペグを本体外側から内側へ打ち換えてください。



- ② ペグを内側へ打ちかえたことを確認し、ビルディングテープを外してください。

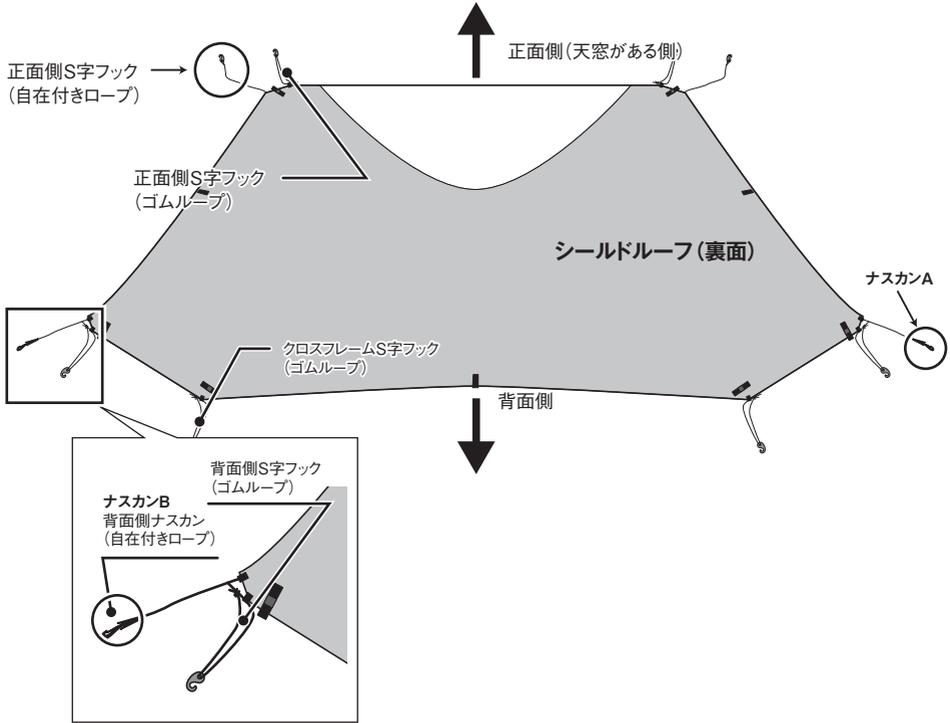


- ③ はずしたビルディングテープを丸めて、収納ポケットへ入れてください。
※撤収する前にはビルディングテープを再度接続してください。ビルディングテープをはずしたままだと次回の設営ができません。

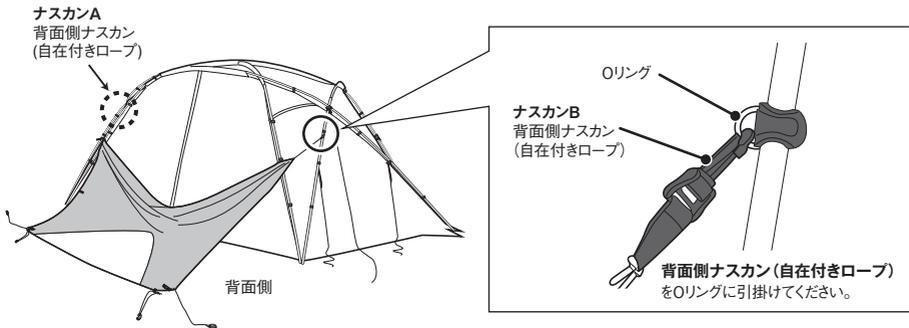


シールドルーフの取り付け方

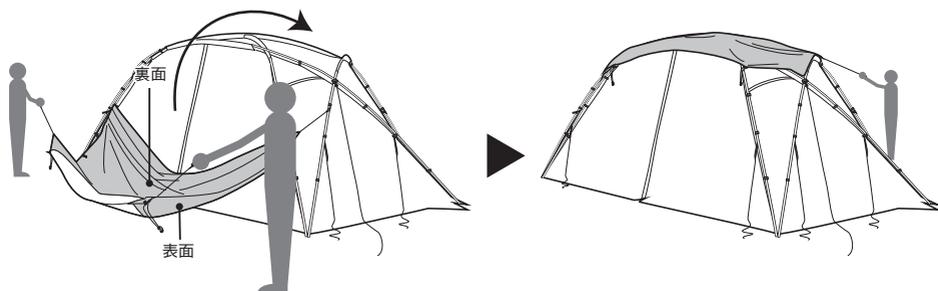
- ① シールドルーフを本体の背面にPUコーティング面(てかりの面)が上になるように広げ前後を確認してください。(左右対称)



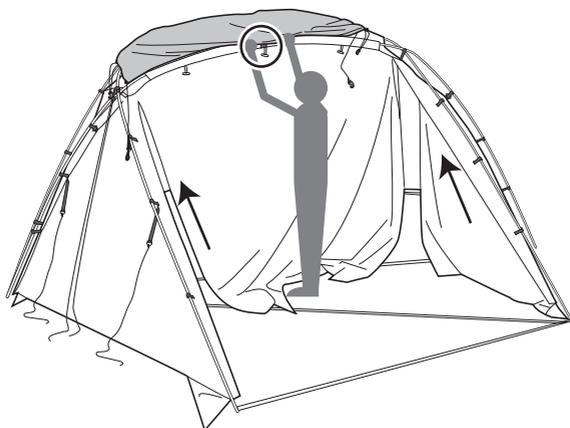
- ② シールドルーフの背面側ナスカン(自在付きロープ)を、Cフレーム背面にあるOリングに引掛けてください。反対側も同様に背面側ナスカン(Oリング)に引掛けてください。



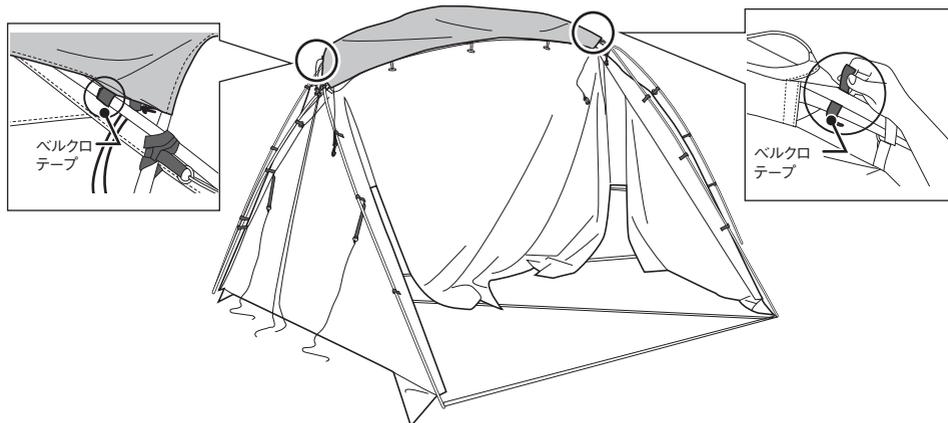
- ③ シールドルーフの正面側S字フック(自在付きロープ)を二人で持ち、フービ本体の天面にシールドルーフを被せてください。



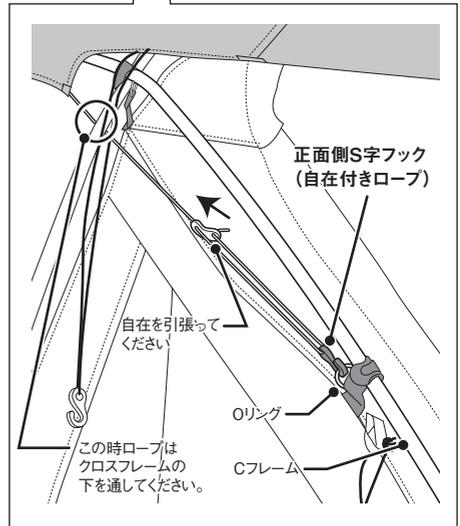
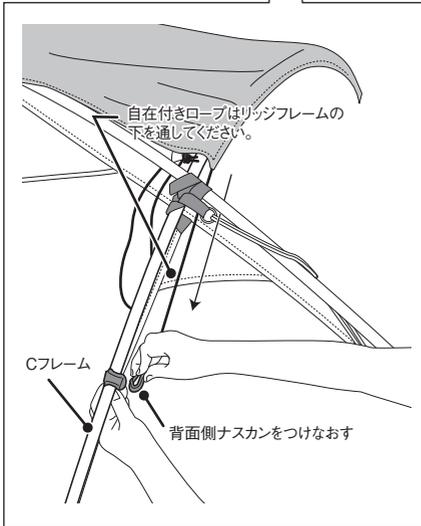
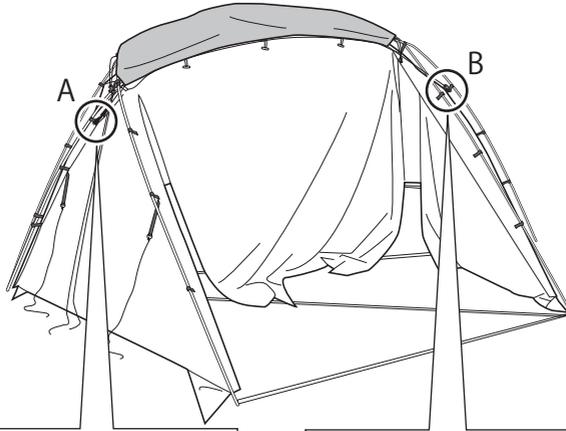
- ④ シールドルーフを取付けやすいようサイドアパネルのジッパーを開けてください。
シールドルーフのサイドアパネル側中央の黒色ベルクロテープ(オス)を、Cフレームスリーブ中央の黒色ベルクロテープ(メス)に取付けてください。



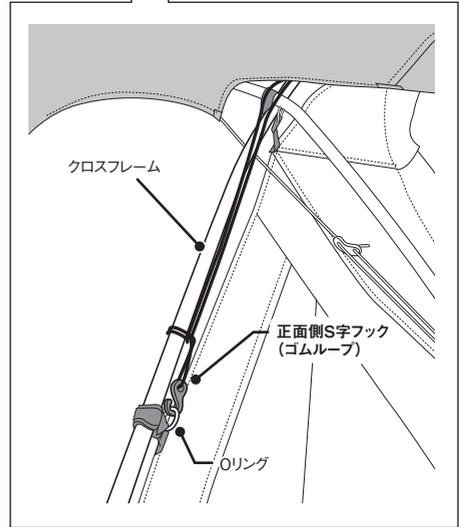
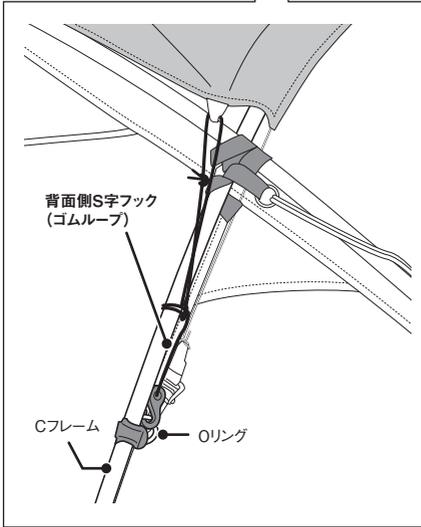
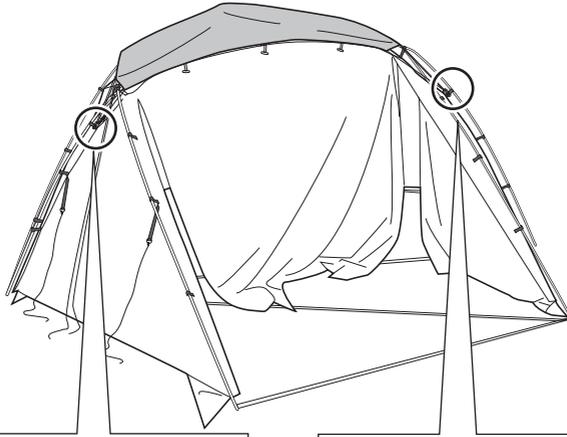
- ⑤ 両側のフレームに対応するシールドルーフのベルクロテープを対応するフレームに巻き付けてください。



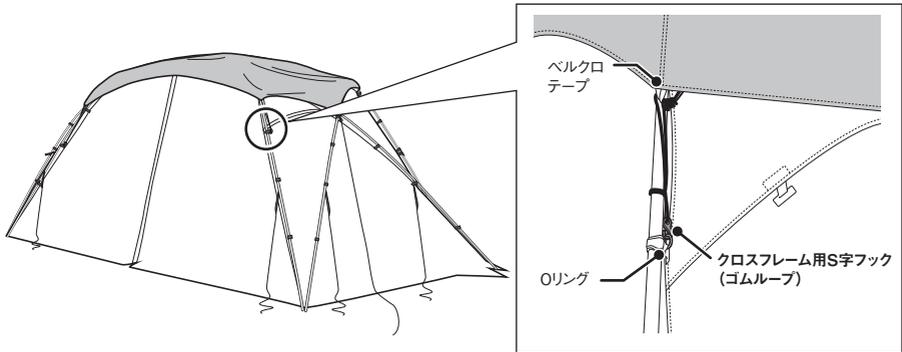
- ⑥ 背面側ナスカの自在付きロープがリッジフレームの下を通るようにOリングにつけなおし(A)、正面側S字フック(自在付きロープ)に対応するOリングに付け(B)、自在を引き調整し、テンションをかけてください。



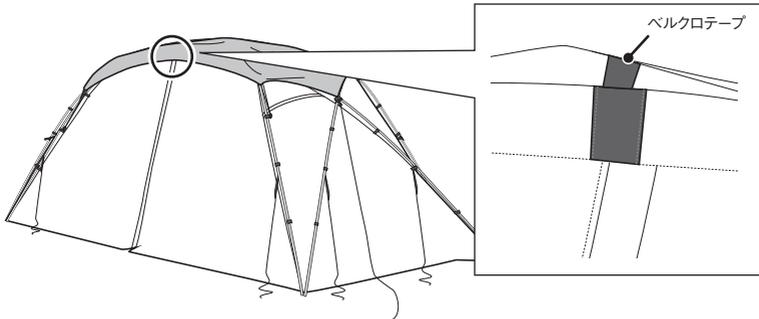
⑦ シールドルーフに付いているゴムループのS字フックを対応するOリングに取り付けてください。



- ⑧ クロスフレームに対応する、シールドルーフ背面側のベルクロテープをクロスフレームに取付け、クロスフレーム用S字フック(ゴムループ)をOリングに取付けてください。



- ⑨ シールドルーフ背面中央のベルクロテープを付けてください。

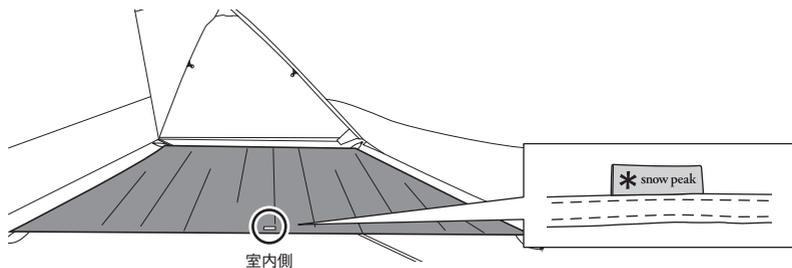


- ⑩ ④～⑧同様にシールドルーフの反対側のベルクロテープ、S字フックを本体に取付けてください。

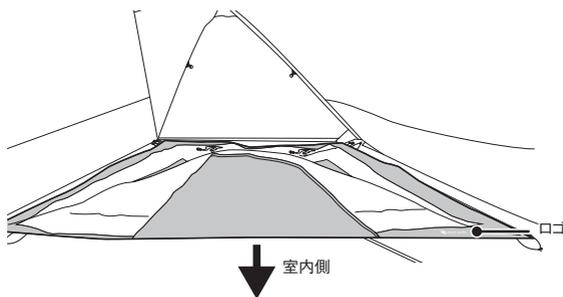
インナールームの取付け

グランドシート、インナールームはフービ本体の左右どちら側でも取り付けることができます。本書では右側に取り付ける方法で説明します。

- ① グランドシートをPUコーティング面(てかりのある面)が上になるように広げ、織ネームタグが室内側になるようにインナールームの位置に敷いてください。

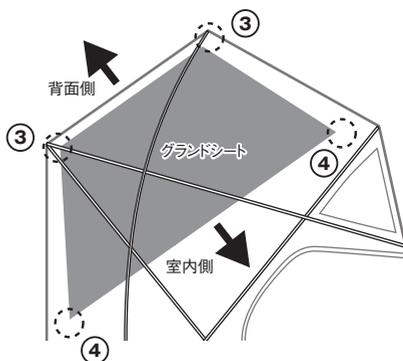


- ② インナールームを広げロゴが印字されている箇所が室内側になるように広げてください。

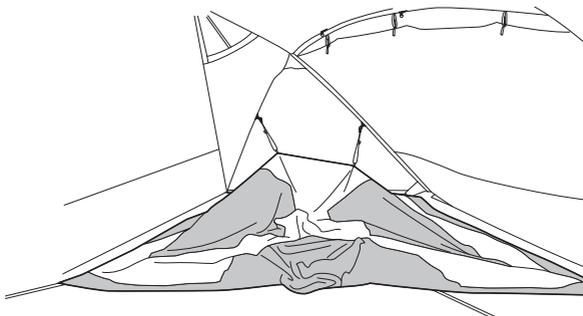


- ③ グランドシート各コーナーにあるゴムループを伸ばし、背面側は対応するペグに引掛けてください。(2カ所)

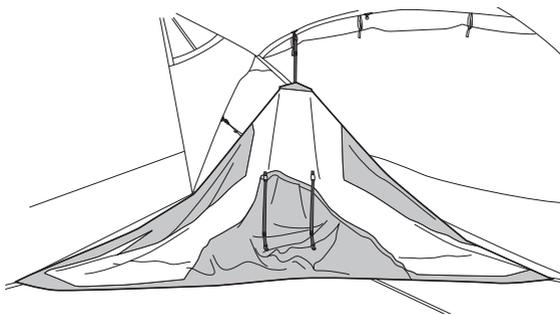
- ④ グランドシート室内側コーナーにあるゴムループを伸ばし、ペグダウンしてください。(2カ所)



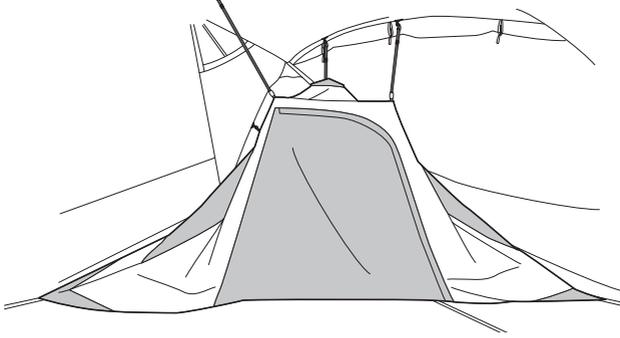
- ⑤ インナールーム背面側両端に付くS字フック(ゴムループ)2ヶ所をフービ本体のOリングに全て引掛けてください。



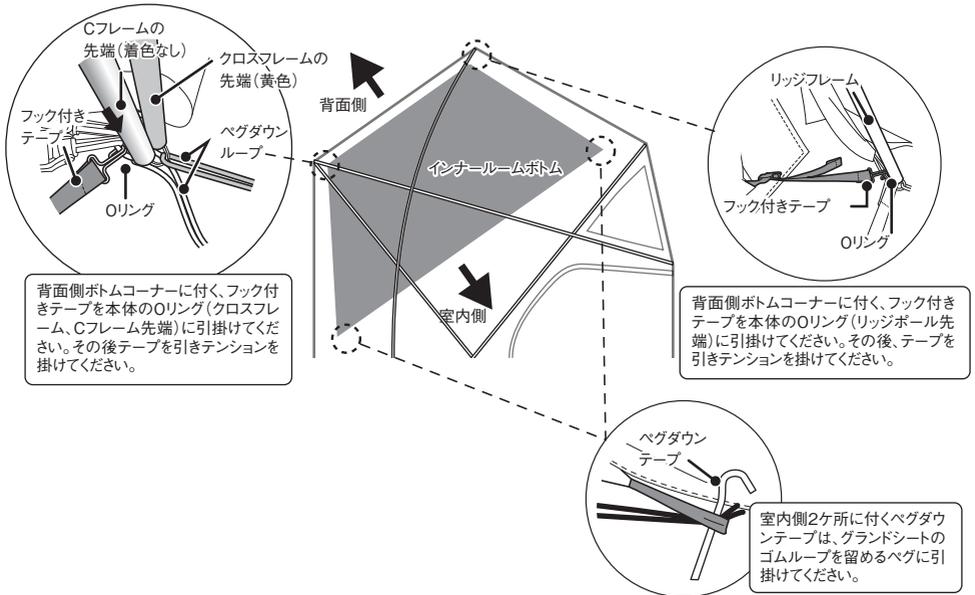
- ⑥ インナールーム背面側上部に付くS字フック1ヶ所をフービ本体のOリングに引掛けてください。



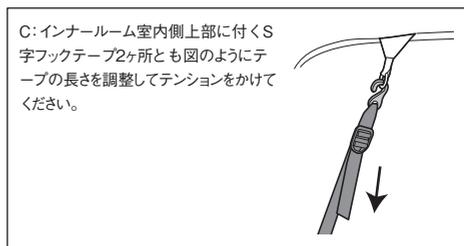
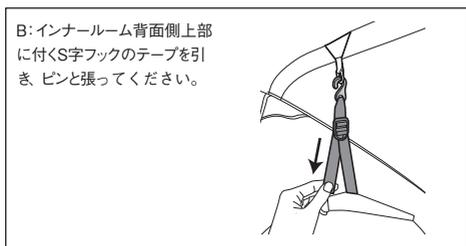
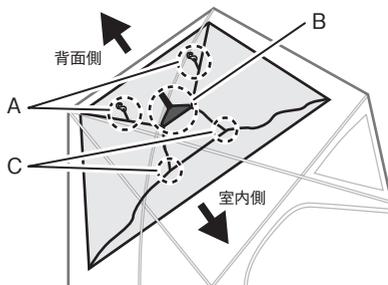
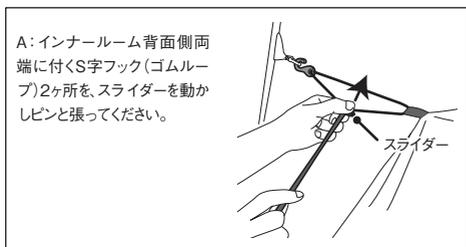
- ⑦ インナールーム室内側上部のS字フック2ヶ所を図のように対応するOリングにそれぞれ引掛けてください。



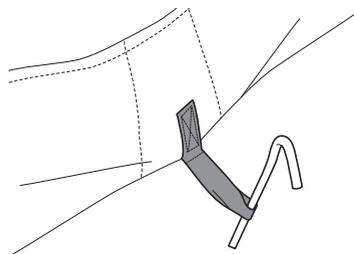
- ⑧ インナールーム各ボトムコーナーに付くテープ(フック付きテープ、ベグダウンテープ)を対応するベグまたはOリングに引掛けてください。



- ⑨ 下記A→B→Cの順番でスライダーやテープを引き、インナールーム上部のたるみを取ってください。
 ※このときテープを強く引きすぎないでください。強く引きすぎるとフープ本体の破損の原因となります。



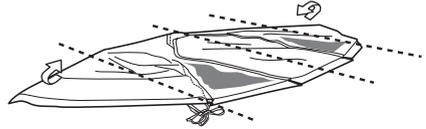
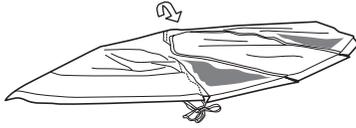
- ⑩ 最後に室内側ジッパー下にあるベグダウンテープをベグダウンしてください。このベグダウンをする事で、ドア開閉の際のボトム浮き上がりを軽減し、開閉しやすくなります。



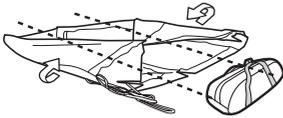
撤収の手順 (必ず2人以上で撤収してください)

撤収は基本的には設営と逆の手順で行ってください。インナールームの中、本体の中にもものが入っていないことを確認してから作業を開始してください。インナールームやシールドルーフ、グランドシート、フレームは本体から取りはずし、インナールームの出入口のファスナーを少し開いておくのと巻き取りやすくなります。グランドシート、シールドルーフはケースサイズに合わせてたたんでください。

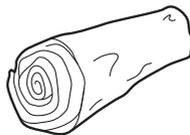
- ① 本体はクロスフレームが入るスリーブの交点を ② 長方形になるように両サイドを内側にたたんでください。
中心に2つ折りにたたんでください。



- ③ 長方形になった本体をキャリーバッグサイズに入る幅にたたんでください。 ④ インナールームドアパネル下部のジッパーを空け、両サイドを内側に畳んでください。 ⑤ 本体同様に、キャリーバッグサイズに入る様にたたんでください。

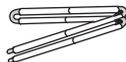


- ⑥ ケース幅になった本体を裾部に向かって空気を出す様に巻いていきます。インナールームは④で開けておいたファスナーに向かって、空気を出す様に巻いてください。 ⑦ 本体とインナールームをまとめてください。 ⑧ フレームは、フレームケースへ入れてください。本体とインナールーム、シールドルーフ、グランドシート、ペグ等はキャリーバッグへそれぞれ収納してください。



撤収・収納時の注意事項

- 十分に乾燥してから収納してください。
- 強風時は、風が収まるのを待ってから撤収してください。
- インナールームを取り付けた場合や、別のテント/タープ等を併用していた場合は、必ずインナールームや併用していた製品を本体から取りはずしてから撤収をはじめてください。
- シェルターの中にも何も入っていないこと、すべてのパネルや窓部のファスナーが閉まっていることを確認してから撤収をはじめてください。
- 撤収の前にすべてのビルディングテープが接続されていることを確認してください。次回設営時にペグダウンしやすくなります。
- フレームは必ず毎回中央付近から折りたたんでください。端から折りたたむとフレーム内部のショックコードの伸びや切れ、フレームの曲がりや折れの原因になります。
- ペグはすべて抜き、汚れを落としてペグケースに頭を下に向けて収納してください。フレームはすべてフレームケースに収納してください。むき出しの状態での収納すると、本体生地やキャリーバッグ等を傷付けることがあります。



結露について

空気中に含まれている水分が急激に冷やされて霧状になったものが結露として現れます。原因としては、人体構成要素の約60%を占める水分が、呼吸や汗などにより放出され、水蒸気となりシェルターやインナールーム内に結露が発生します。シェルター内では、特にフライシート・ボトム部分などの防水性能が高い部分に結露が発生しやすくなります。結露は優れた透湿防水素材でも使用状況により完全に防ぐことは不可能です。ご使用中は結露軽減のために適時換気を行ってください。

撥水・防水性能について

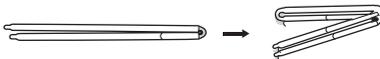
- 本製品はいずれの生地にも高性能の撥水加工を施していますが、生地の特性上、撥水性能(撥水の仕方や耐久性)に若干の差が見られる場合があります。また、ご使用を重ねますと撥水性能が低下する場合があります。性能が低下した場合は市販の撥水スプレー等を、それらの説明書をよくお読みの上ご使用ください。
- 防水性の高い生地を使用しておりますが、地面の水溜りなどへ長時間接触していると雨水が浸み込む場合があります。
- 農薬などでPUコーティングが破壊され耐水圧が異常低下してしまう場合があります。この症状と判断された場合、製品の保証が出来なくなりますのでご注意ください。
- 撥水剤の影響によりロゴマークが剥離する場合があります。

紫外線の影響について

- 本体の生地にはUVカット加工を施しています。
※UVカット加工は、紫外線による人体への影響や、素材劣化を防止するものではありません。
- シェルターの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- 紫外線の影響と思われる素材の劣化により、耐久度合いを超えたものは弊社でも修理できない場合があります。

メンテナンス・保管

- 本製品はポリエステル生地を組み合わせで使用しています。生地の特性を考慮し、できる限り色移りし難い加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、色移りが発生する場合があります。ご了承ください。また、濡れたままの保管は避けてください。
- 濡れたまま保管すると、カビや悪臭、生地の色移り、生地の劣化などのトラブルの原因になりますので、使用後は風通しの良い日陰で十分に乾燥し、柔らかいブラシなどで泥汚れを落としてから保管してください。
- フレームを通した状態のまま逆さまにしないでください。フレーム折損や生地損傷の原因になります。
- フレームは表面の汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。濡れたまま保管すると腐食、強度が低下します。ジョイント部分は常に清潔にし、少量のシリコン系潤滑剤を薄く塗布してください。塗布し過ぎると生地に油シミができますのでご注意ください。また、フレーム内部のショックコードは不必要に引っ張らないでください。
- フレームを収納する際は、中央を意識しながら折り畳んでください。
- 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- ファスナーに泥や砂、ホコリなどが付着したまま使用すると摩耗し破損の原因になりますので、ブラシなどを常に清潔にしてください。また、スライダーの動きを滑らかにするために、少量のシリコン系樹脂剤を定期的に塗布してください。塗布し過ぎると生地に油シミができますのでご注意ください。
- 小さな生地の破損は市販のリペアテープで補修できます。補修の際はリペアテープの説明書をよくお読みください。
- ご使用により広範囲にわたり素材が劣化し、耐久度合を超えたものは修理できない場合があります。
- シームテープはPUコーティングが痛まない程度の温度設定で圧着されていますが、使用を重ねるにしがいが剥離してしまう場合があります。剥離が確認された場合は、アイロンを低温に設定し、剥離箇所のみを再度圧着してください。熱を掛け過ぎた場合生地が変色したり劣化が促進されますのでご注意ください。シームテープは無理やり剥離させないでください。PUコーティングが一緒に剥離された場合、修理できなくなる可能性があります。
- 樹液が付着してしまうときれいに除去することはできません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設置してください。溶剤などにより無理に除去すると生地やコーティングを傷めます。
- 使用する際にフレームが折れてしまった場合は、応急処置として速やかに添え木をあて、ビニールテープなどで固定するか、撤収をしてください。
- 次回のキャンプに備え、上記の通り、十分に保守、点検をしてください。



品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期していますが万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適正な価格で修理させていただきます。修理・交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合には保証、修理できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

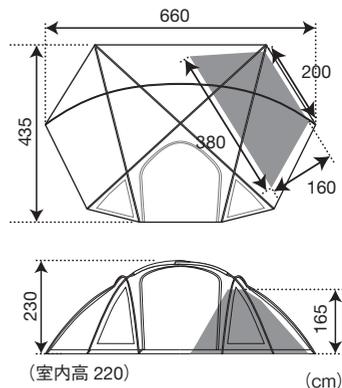
- 1.取扱説明書に従わなかったと判断した場合。
- 2.素材の経年劣化による製品の寿命。
- 3.改造及び粗雑な扱いによる製品の故障。
- 4.不測の事故による製品の故障。
- 5.その他製造上の欠陥以外による製品の故障。
- 6.ゴミやサビによる故障。
- 7.分解したことによる不具合の発生または破損。
- 8.落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合。
- 9.消耗品の劣化、破損、故障及び付随する不具合。
- 10.他社製品との組合せによる故障。

修理について

- 本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店または弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。
- 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
- 修理品には修理箇所がはっきりと解るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
- 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
 - 1.保証対象の場合：往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。
 - 2.保証対象以外の場合：往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

スペック

- セット内容: 本体、インナールーム、シールドルーフ、グランドシート、クロスフレーム (×2)、C フレーム (×2)、リッジフレーム、ジュラルミンペグ (×22)、自在付きロープ (2m×10、3.5m×2、4m×2、二又用 7m×2)、キャリーバッグ、フレームケース、ペグケース、シームシーリング剤
- 材質: 本体ルーフ部 / 150D ポリエステルオックス・遮光ピグメント PU コーティング・耐水圧 3,000mm ミニマム・撥水加工・UV カット加工 本体ウォール部 / 150D ポリエステルオックス・PU コーティング・耐水圧 1,800mm ミニマム・撥水加工・UV カット加工、シールドルーフ / 75D ポリエステルタフタ・遮光ピグメント PU コーティング耐水圧 1,800mm ミニマム・撥水加工・UV カット加工、TPU
インナールーム (ウォール) / 68D ポリエステルタフタ
インナールーム (ボトム) / 210D ポリエステルオックス・PU コーティング耐水圧 1,800mm ミニマム、グランドシート / 210D ポリエステルオックス、PU コーティング耐水圧 1,800mm ミニマム、フレーム / A6061
- キャリーバッグサイズ: 78×32×36(h)cm、フレームケースサイズ: 71×21×22(h)cm
- 重量: 25.2kg



不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

スノーピーク  **0120-010-660**(9:00~17:00)
ユーザーサービス Email: userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク

〒955-0147 新潟県三条市中野原456

Tel. 0256-46-5858 / Fax. 0256-46-5860

www.snowpeak.co.jp

MADE IN CHINA